

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（毎月分配型）

第138期分配金は25円（1万口当たり、税引前）

2020年5月26日

平素は、『ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（毎月分配型）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2020年5月25日に第138期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして、25円（1万口当たり、税引前。以下同じ。）と致しましたことをご報告申し上げます。

第138期決算（20/5/25）にかかる分配金を従来の40円から25円に引き下げましたのは、現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを総合的に勘案した結果によるものです。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

基準価額・純資産・分配の推移

2020年5月25日現在

基準価額	3,985円
純資産総額	230億円

《分配の推移》（1万口当たり、税引前）

決算期	（年/月/日）	分配金
第1～133期	合計:	11,490円
第134期	(20/1/27)	40円
第135期	(20/2/25)	40円
第136期	(20/3/25)	40円
第137期	(20/4/27)	40円
第138期	(20/5/25)	25円
分配金合計額	設定来:	11,675円
	直近5期:	185円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

Q1 なぜ、分配金を40円から25円に引き下げたのですか？

現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを考慮した結果、今後も継続した分配を行ない、信託財産の着実な成長をめざすためには、分配金の引き下げが必要との判断に至りました。

弊社では、インカム性収益や分配対象額の状況、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金額を決定しています。

当ファンドの分配金を見直しは、現在の基準価額の水準やインカム性収益の状況などを考慮した結果によるものです。

当ファンドでは第85期決算（15/12/25）以降、40円の分配金を継続しておりましたが、40円のうち期中の配当等収益を超える額は過去の蓄積等から充当してまいりました。また、分配金の支払いなどにより、基準価額は軟調に推移しております。（配当等収益の状況はQ2をご覧ください。）

足元の分配金と基準価額の水準などを勘案し、今後も毎決算時に分配を行い、基準価額の下落を抑え信託財産の成長をめざすためには、分配金の見直しが必要との判断に至りました。今回、分配金を見直したことによる差額はファンドの純資産に留保されるため、分配金支払後の基準価額の下落はその分小さくなります。

なお、当ファンドの収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

- ◆ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ◆ 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

Q2 配当等収益と分配対象額の状況について教えてください。

期中に得られる配当等収益（経費控除後）は、第138期決算（20/5/25）では23円（1万口当たり）となっています。

下記の表にあるとおり、分配金の一部を期中の配当等収益以外の分配対象額から支払っている状況がありました。この結果、当期の分配金支払い前の分配対象額は240円（1万口当たり）となっています。

■ 分配金の計算過程（1万口当たり、税引前）

（単位：円、1万口当たり・税引前）

		配当等収益		有価証券売買等損益		分配準備 積立金③	収 益 調整金④	分配対象額 (分配金支払い前) ①+②+③+④	分配金	分配金支払い後 基準価額
		経費控除後 配当等収益①	経費控除後・ 繰越欠損補填後 売買益②							
第127期	19/6/25	39	38	278	0	200	103	341	40	5,768
	分配金内訳		38		0	2	0			
第128期	19/7/25	39	38	181	0	198	103	339	40	5,941
	分配金内訳		38		0	2	0			
第129期	19/8/26	41	34	△ 680	0	195	104	333	40	5,255
	分配金内訳		34		0	6	0			
第130期	19/9/25	38	36	74	0	189	104	328	40	5,321
	分配金内訳		36		0	4	0			
第131期	19/10/25	39	38	328	0	184	104	326	40	5,641
	分配金内訳		38		0	2	0			
第132期	19/11/25	39	32	△ 257	0	181	105	318	40	5,375
	分配金内訳		32		0	8	0			
第133期	19/12/25	36	34	146	0	173	105	312	40	5,510
	分配金内訳		34		0	6	0			
第134期	20/1/27	36	29	△ 101	0	167	106	301	40	5,397
	分配金内訳		29		0	11	0			
第135期	20/2/25	35	28	△ 142	0	155	106	289	40	5,244
	分配金内訳		28		0	12	0			
第136期	20/3/25	29	24	△ 1,052	0	142	107	273	40	4,171
	分配金内訳		24		0	16	0			
第137期	20/4/27	29	23	△ 343	0	126	108	256	40	3,812
	分配金内訳		23		0	17	0			
第138期	20/5/25	24	23	179	0	109	108	240	25	3,985
	分配金内訳		23		0	2	0			

※上記データは過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

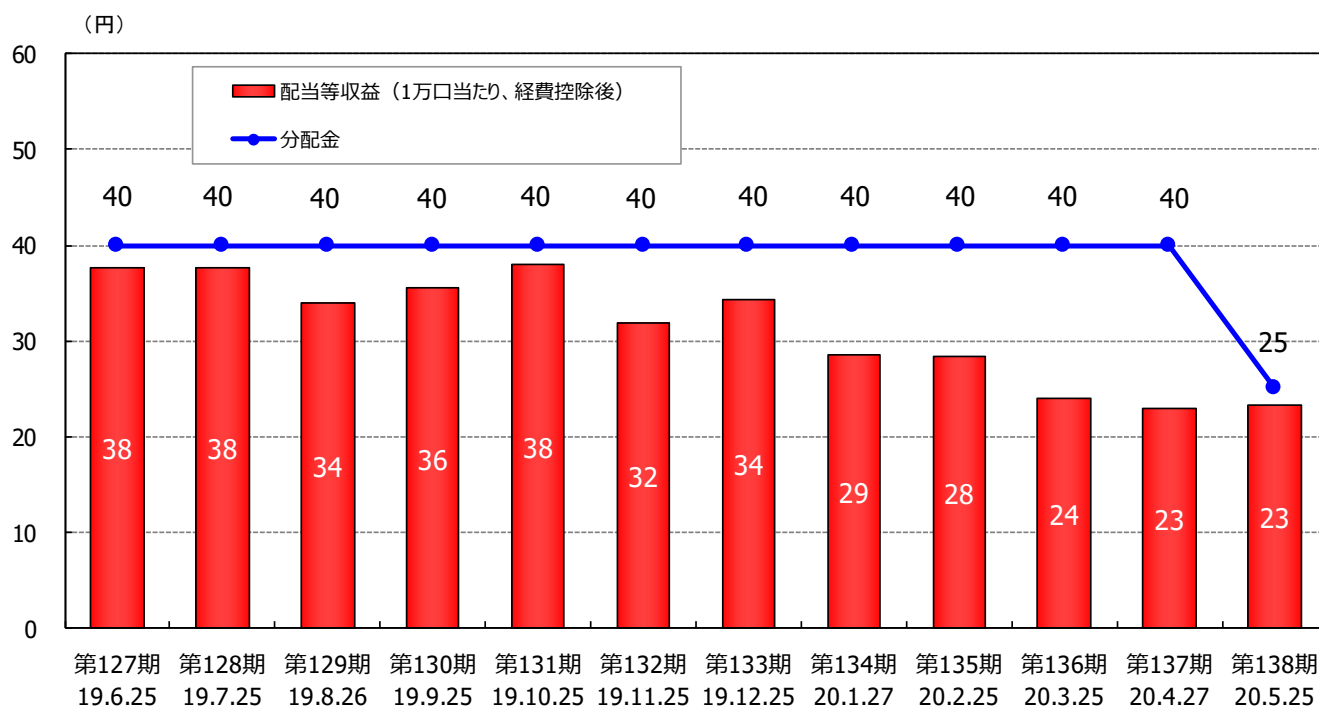
※円未満は四捨五入しています。下段の数値は、分配金の内訳です。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

■ 分配準備積立金---期中の配当等収益や有価証券売買益などのうち、当期の分配金に充当しなかった部分は、分配準備金として積立てます。分配準備積立金は、次期以降の分配金に充当することができます。

■ 収益調整金---追加型の投資信託において、追加設定が行なわれることによる既存投資者への分配対象額の希薄化を防ぐために設けられた勘定です。

■ 配当等収益（1万口当たり、経費控除後）および分配金（1万口当たり、税引前）の状況



※上記のデータは、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

Q3 25円分配はどのように決定したのですか？また、25円分配はいつまで続けられる見通しですか？

分配金は、収益分配方針に基づいて、今後数期にわたって継続できるよう考慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

当ファンドの収益分配方針において「原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。」と定めています。当該方針に基づいて分配金は、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、現在の分配金の水準を維持できない、あるいは分配金が支払われない場合もあります。特に分配対象額の減少、配当等収益の低下、基準価額の下落などは分配金の引き下げ要因となります。

Q4 分配金を事前に知ることはできないのですか？

決算日（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）の夕方から夜にかけての公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

分配金は事前に決定しているものではなく、ファンドの決算日（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に、ファンドの収益分配方針、配当等収益や分配対象額の状況、基準価額の水準等を勘案して委託会社（大和アセットマネジメント）が決定します。したがって、事前にお知らせすることはできません。

夕方から夜にかけて委託会社のホームページ（<https://www.daiwa-am.co.jp/>）で基準価額とともに分配金を公表します。公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

Q5 分配金を引き下げるということは、今後の運用に期待できないということですか？

分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。

現在の基準価額の水準や配当等収益の状況などを勘案し、今回分配金を引き下げましたが、分配金の多寡で運用成績が測れるものではありません。運用成績は、今までの分配実績と基準価額の動き両方をみたトータルリターン（総収益率）で確認する必要があります。今後の運用成績も、同様に分配金の水準だけで判断することはできません。

引き続きブラジル・リアル建てのブラジル国債を組み入れることで、高利回りを享受する債券ポートフォリオを基本に運用を行なってまいります。

Q6 最近の運用状況と今後の見通し・運用方針について教えてください。

現在の低インフレ環境はブラジル債券の好材料です。財政収支や経常収支の悪化による金利上昇リスクには注意を要するものの、金利予測に基づく債券年限構成と、物価予測に基づく物価連動債の組入比率の変更を通じて投資パフォーマンスの向上を図っていきます。

最近の運用状況

（債券市況）

年初から足元までのブラジル国債の金利は短期が低下した一方、長期は上昇しました。ブラジルでは、年初から利下げ期待の高まりにより金利が低下傾向にありましたが、3月に入ると新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避的な姿勢が強まり、金利は急上昇しました。しかし、各国の政策当局が大規模な財政・金融政策を発表したことで市場の混乱は一定の落ち着きをみせ、ブラジル政府・ブラジル中央銀行も緊急経済対策の発表や複数回の利下げを実施したため、特に政策金利の影響を受けやすい短期金利は大きく低下し、長期金利も上昇幅が縮小しました。

（為替相場）

年初から足元までのブラジル・リアル円は下落しました。新型コロナウイルスへの懸念により市場のリスク回避的な姿勢が強まったことを背景に、新興国からの資金流出が進みブラジル・リアルは対円で下落しました。また、原油価格の下落も産油国であるブラジルの通貨安の要因となりました。さらに、国民からの人気が高かった法務大臣の辞任など政治不安の高まりもブラジル・リアルの下落要因となりました。

今後の見通し

歴史的に高インフレ体質に悩まされてきたブラジルが、今般の局面においてはインフレが低い水準にとどまっていることはブラジル債券の好材料と言えます。一方、感染抑止より経済優先を打ち出すボルソナロ大統領の姿勢によって新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、経済の低迷状態が長引くリスクには十分注意が必要です。ブラジルでは、5月19日に新型コロナウイルスの新規感染者・死者数ともに最多記録を更新するなど感染拡大に歯止めがかかっておらず、同日時点で米国、ロシアに続いて世界第3位の感染者数となっています。また、ブラジルでは主要閣僚が辞任したことなどによる政治不安の高まりもみられることから、今後も新型コロナウイルスの感染状況や実体経済への影響、そして政権運営に注意を払っていく必要があるとみています。

■ 今後の運用方針

当ファンドはブラジル・リアル建て債券に投資し、金利予測に基づく債券年限構成と、物価予測に基づく物価連動債の組入比率の変更を通じて投資パフォーマンスの向上を図っていきます。ブラジルの財政収支や経常収支の悪化による金利上昇リスクには注意を要するものの、米国をはじめとする世界各国およびブラジル政策当局による市場の過度な変動を抑制する政策運営や、低インフレ環境を背景にブラジル金利は低下圧力が優勢だと考えており、デュレーション（金利リスクの大きさを示す指標）を長めとしつつ、物価連動債の組み入れはしないとの運用を続ける方針です。ただし当面は新型コロナウイルスの感染動向に加えて、政治、経済および市場環境の不透明感が強い状況が続きやすく、状況に応じて適宜、運用方針を見直していきたいと考えています。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

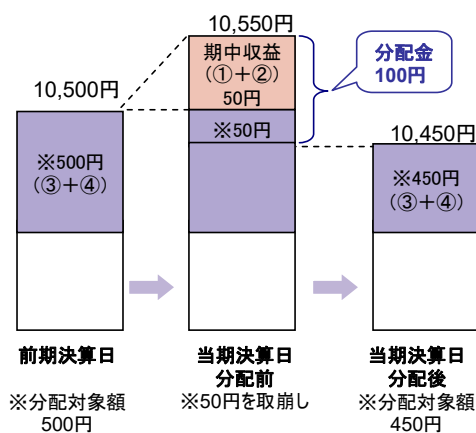
投資信託で分配金が支払われるイメージ



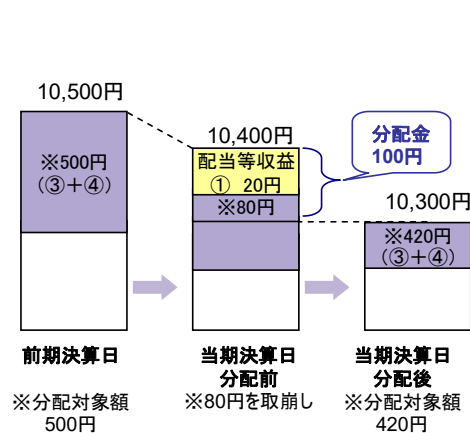
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



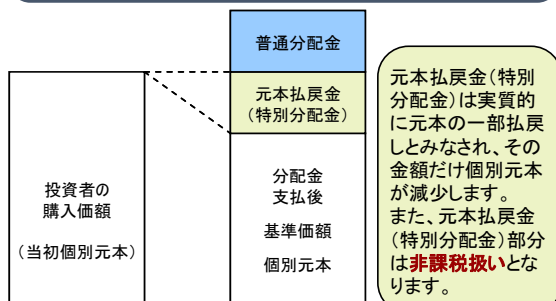
前期決算日から基準価額が下落した場合



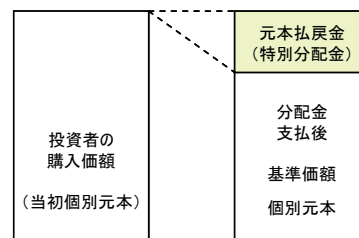
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

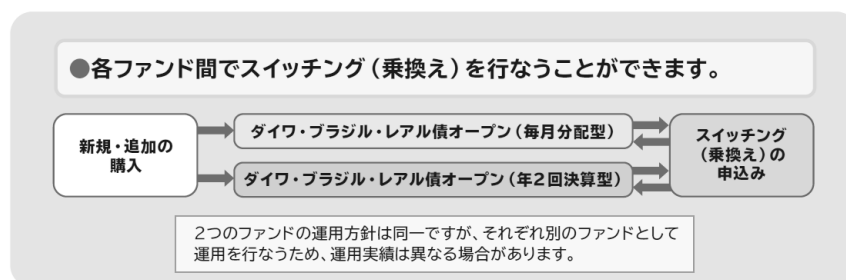
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

Ⅰ ファンドの目的・特色

- ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. ブラジル・レアル建債券に投資します。
 - 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 - 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。
 - 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。
 - ブラジル・レアル建債券の運用については、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。
2. ダイワ・ブラジル・レアル債オープン（毎月分配型）とダイワ・ブラジル・レアル債オープン（年2回決算型）の2つのファンドがあります。



3. 毎月25日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
 4. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込に伴うリスク、税制に伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3% (税抜 3.0%) スイッチング (乗換え) による 購入時の申込手数料について は、販売会社にお問合わせくだ さい。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の 提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.474% (税抜 1.34%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額 に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取 引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管 する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※ブラジル国内債券投資に伴い、ブラジル・レアルを取 得する為替取引に対しては金融取引税が課されます。 なお、2019 年 10 月末日現在、税率は 0% です。ブ ラジルにおける当該関係法令等が改正された場合に は、前記の取扱いが変更されることがあります。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

くわしくは「投資信託説明書 (交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。